

平成 23 年度 学校教育計画 (案)

A : 学習活動 B : 学校生活 C : 進路支援 D : 特別活動 E : その他

項 目		目 標・方 針 及 び 計 画	
(1)	校務運営 E	目標	・教育目標、教育方針に沿った校務分掌組織を確立し全教職員の共通理解を図りながら機能的・能率的な校務運営を図る。
		計画	①校務運営委員会(部長会)で、各部・教科学年間の密接な連携による情報の共有化に努める。 ②様々な教育活動において、教育目標と分担業務との関連性の自覚を促し、教職員一人ひとりが意欲的に業務を遂行する意識を高める。
(2)	教育課程 A	目標	・一人ひとりが基礎学力を身につけ、各分野の学習内容に対応した資格取得や進路を実現する教育課程を編成する。
		計画	①コアカリキュラムの改善点および、新カリキュラム(H24入学生の数学、理科先行実施、H25入学生の完全実施)の内容を検討し、学習指導委員会で協議する。 ②生徒の興味関心や進路希望を調査・分析する。 ③シラバスを活用した科目選択のガイダンスを充実する。
(3)	教科指導 重点 1 A	目標	・基礎学力の定着と調和のとれた人格の形成を図る。 ・一人ひとりが、各教科の目標に到達できるように指導する。
		計画	①授業時間数の確保と 指導内容の充実や指導方法の改善 に努める。 ②生徒用のシラバスを通して各教科・科目の目標や学習方法などを生徒に説明し、理解をさせ、基礎学力の定着を図る。
(4)	生徒指導 重点 2 B	目標	・基本的生活習慣の確立 ・保護者の理解・協力を得て、規範意識、けじめ意識の育成を図りながら、規律と秩序ある校風作りを励ます。 ・生徒自らがマナーや規範意識を高めようとする主体的な活動を支援する。
		計画	① 遅刻防止指導 ②問題行動の未然防止、早期対応 ③挨拶、マナー指導 ④ 全校一斉服装指導 ⑤講話(交通安全、性、たばこ・薬害) ⑥交通安全指導 ⑦校内外の巡視 ⑧学習環境整備
(5)	特別活動 重点 4 D	目標	・各行事の内容・目的を理解させ、各自の役割を遂行する態度の育成と人間関係の健全な育成を目指し、高校生活の充実を図る。
		計画	①生徒会行事・HR活動(生徒会会誌の発行) ② 各行事の取り組み(体育大会・文化活動発表会) ③ 部活動を通して、学校生活の充実を図る。 ④その他(高文際・地域との学校活動) 上記行事への取り組みを年間の見通しをもって円滑な運営を目指す。
(6)	進路指導 重点 3 C	目標	・生徒個々の進路意識の改善を図り、早期に具体的な目標を持ち主体的に取り組むよう援助する。また、学び直し学習にて基礎学力の充実を図る。 ・生徒個々の進路希望に対応できる進路情報を効果的に提供し、生徒および家庭の理解を促し目標の実現に向け努力させる。
		計画	①生徒のニーズを踏まえた 進路ガイダンスや進路体験講座を企画・実施 する。また、オープンキャンパスや学校説明会等への参加を促す。 ② 進学・就職に対応した資格や学力を獲得 できるように指導体制を整える。
(7)	保健・美化 B	目標	・自らの健康を考える知識と意欲の育成を図る。 ・学校環境の整備美化への関心を高め、積極的に実践する態度を育てる。
		計画	①定期健康診断・各種検診の結果をもとに健康について適切に指導する。 ②心身の健康に関する情報を提供し、健康管理の意識を高める。 ③校舎内外の環境美化のため、特別清掃や美化週間を計画する。

(8)	図書指導 D	目標	・情操豊かな人間形成を目指し、意欲的な読書活動の推進を図る。 また、そのための読書環境を整える。
		計画	①読書習慣の定着を図るため、「朝の読書」の意識を向上させる。 ②図書館資料の利用の活性化を図る。 ③教養講座などの運営やさまざまな広報活動への図書委員の自主的な取り組みを支援する。
(9)	情報 E	目標	・情報の管理体制を確立し、情報モラルの育成・高揚を図る。 ・外部への情報発信の充実を目指し、迅速で正確な情報伝達に努める。
		計画	①ネットワーク利用に関するガイドライン及び情報管理運用規定の遵守を徹底するとともにネチケット、マナーの意識の向上を促す。 ②本校のホームページを活用し、効果的な情報発信に努める。
(10)	教育相談 B	目標	・生徒が心身ともに健康な状態で高校生活を送れるように、悩みを聞き、共に考え、方向性を見いだす。 ・生徒が直面する課題を自らの力で解決できるように導く。
		計画	①不適応等の問題を抱える生徒の早期発見・改善のため、教師間並びに教師と保護者の連絡・調整をし、専門機関との連携を図る。 ②毎月発行している相談室だよりの中で、こじれない人間関係の作り方をわかりやすく説明し、不適応な生徒を援助する。
(11)	地域との 連携 E	目標	・学校・家庭・地域間の連携・交流をさらに深める。 ・PTA活動の活性化を図る。
		計画	①保護者や地域の方々に学校教育活動や学校行事の参加を促すとともに、地域の行事・ボランティア活動に積極的に参加する。 ②PTA行事や研修内容を充実させるとともに、アンケート実施や連絡・案内等を工夫することにより、会員相互の連携を一層密にする。
(12)	1 学年 E	目標	・基本的な生活習慣と望ましい学習態度を身につけさせる。 ・これまでの生活を省み、日常生活での学習時間の確保し、基礎学力の定着をはかる。
		計画	①教員は授業開始時には早めに教室へ行き、生徒の始業チャイム前の着席の徹底をさせる。 ②面談等を通して、家庭での生活実態の把握に努めるとともに、生徒のこれまでの生活を省みさせ、個々に応じた学習方法や内容の改善を適切に指導する。
	2 学年 E	目標	・将来を見通した目標を持たせ、実現に向けて自主的に行動できるようにする。 ・学校での様々な場面で自分を律する心、相手を思いやる心を育む。 ・生活習慣の改善により、学習時間を確保し基礎学力の定着を図る。
		計画	①県外進路研修、インターンシップ、オープンキャンパスなどに主体的に参加するよう促し、自らの進路を考える機会を持たせる。 ②集団生活の中でルールを守ることの大切さを理解させ、責任ある行動がとれるように指導を繰り返す。 ③授業や家庭学習の大切さを説きながら、時機に応じた学習の手だてや補習を行い、進路実現のための基礎学力をつける。
	3 学年 E	目標	・各自の進路目標を明確にし、その実現に向けた学習活動に真摯に取り組ませる。 ・基本的な生活習慣の確立を目指し、規律と自覚ある行動がとれるようにする。
		計画	①個々の能力や適性に応じた進路を決定するためきめ細やかな面接を行う。さらに目標を具体化させ、主体的に取り組む意欲を高める。 ②遅刻・欠席を減らし、挨拶や場に応じたマナーを身につけさせる。 ③学校行事や部活動の経験を通し、リーダーとしての自覚を育て、社会性を高めるように努める。